

第681回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和7年11月27日(木) 9時30分～11時45分
開催場所 福崎町役場 3階 第2委員会室
出席委員 高橋 渉、井奥智子、西村照明、鎌谷正子
事務局 学校教育課長 吉高美鈴、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、第680回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として西村委員・鎌谷委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校の様子(10月中旬～)

こども園では、福崎幼児園で発熱等で35名の欠席がありました。兄弟の一方が休む際、もう一人も休ませるといふ保護者への対応・返事に困っています。日本語の理解が十分ではない外国籍の保護者対応に苦慮しています。0・1・2歳児の授業参観を実施しました。八千種幼児園で咳、鼻水で5名の欠席がありました。運動会のかけっここで、今まではトラックのカーブで転んでケガが多かったので、今年は直線にしたところケガが少なかったです。田原幼児園で発熱等でのべ94名の欠席がありました。体調不良で2名が入院しました。保護者の仕事の関係で登園しにくい園児がいるので、見守っています。高岡幼児園は概ね、元気に登園しています。「クラスだより」を減らし、その日の活動を写真付きでコドモンで発信していますが大変好評です。姫学こども園は鼻水、咳などでのべ44名が欠席しました。「しんどい」「朝起きないので休ませます」といふ保護者の対応に悩んでいます。サルビアこども園はのべ59名の欠席がありました。祖父母参観を実施しましたが、大変温かく良い雰囲気で行われました。

月1回開催している園長会で、給食メニューについて「美味しかったメニューや配慮してほしいメニュー」など意見交換を行いました。その結果は給食センターに報告し改善を行っています。また、卒園式の日程が公立園は3月19日(木)、私立園は3月21日(土)であることを確認しました。

学童保育園の様子は、東部学童保育園は10月は90名以上の利用がありましたが、11月になり80名とやや減少しました。わがままな児童について、指導員の関わり方によって穏やかに生活できることを学びました。個別対応の児童が多くなり、指導員の人数増が必要です。滑り台の途中から落ちた児童がいましたが大事には至っていません。再度、全員に「遊具では鬼ごっこをしない」ことを注意しました。指導員の共通理解が課題であるため、その都度、園長から個別に指導員に指導するよう依頼しました。西部学童保育園は10月は平均46名の利用がありました。11月になりインフルの影響が出始めています。児童の特性で学童保育中に急に発熱をする場合があるので注意しています。西部でもジャングルジムなどの遊具での鬼ごっこはしないよう指導しています。

月1回の学童保育園の園長会で、ここ数年、1年生で「注意が聞けない」など指導が通じない児童がだんだんと増えているという報告がありました。小中学校でも落ち着かない、注意が聞けない、授業時間中椅子に座ってられないような子どもが増えてきているように感じています。

小学校では、福崎小学校は通学路の塀に落書きをしていた児童がいましたのでその

児童と一緒に落書きを消しました。また、悪口等の「いじめ」事案が6年生であり、指導しました。10月6日・7日のオープンスクールには240名の参加があり、多くの方が関心を持たれていることを喜んでます。保護者からの虐待が疑われる児童の様子を保健センターへ報告しました。今後、保健センターが虐待かどうか調査するという事になっています。町消防団との合同訓練を行いました。新1年生で5名の外国籍の児童が入学します。外国籍で日本語が理解しにくい児童が多いです。高岡小学校では「納得がいけないことがあると全く指示を受け付けない」児童、担任に対して反抗的な態度をとる児童、授業中の立ち歩きや私語が目立つ児童に対して継続して指導しています。田原小学校は「いじめ」が2件あり、保護者を交え指導しました。保健室やほんわかルームにしか行けなかった児童が、教室に行けたり音楽会に参加できたりして喜びながら見守っています。八千種小学校はジャンケンによる「かけごと遊び」をしていた児童を指導しました。「いじめ」が1件あり、該当クラスで保護者会を開き、報告と指導の協力を求めました。また、思い通りにならないと家に帰ってしまったり暴れる児童に対して根気強く継続した指導を行っています。10月2日・3日のオープンスクールには30名の参加がありました。

中学校では、福崎西中学校は1年生に授業に集中できず落ち着かない生徒が数名います。3年生では数名が進路に向き合えず将来の展望を見いだせない、授業に入れない、また指導不服従の生徒がいます。その生徒たちが1年生への授業妨害があり、指導しても従うことはありませんでした。継続して個別相談と家庭訪問などの指導を行っています。ケガが数件とインフルによる学級閉鎖がありましたが、各種中播新人戦には参加できています。プール下に通じる扉の2個の南京錠が壊される器物破損や体育館、特別教室の鍵がなくなる事案があり、落ち着かない状況が続いています。福崎東中学校は、友人関係でのトラブルがあり、指導後も継続して見守りを行っています。「通学路ではない狭い道路を自転車で登校している生徒がいる。危ないので指導してほしい」という電話による情報提供がありました。これは3年前に全員が自転車通学になりましたが、徒歩には一方通行がないが、自転車は一方通行があるということを知らなかったため、周知徹底するとともに、教員による通学路の再点検をしています。

インフルエンザによる学級・学年閉鎖は、高岡小学校の5・6年生が10月31日～11月1日、福崎西中学校の3年1組・2組、2年2組が11月5日～6日、福崎小学校の4年生が11月5日に校外学習で神戸方面へ行く計画がありましたが、欠席者が多かったため延期しました。田原小学校の2年2組、5年1組が11月19日～20日に学級閉鎖しました。

(鎌谷委員) この時期になり、いじめ事案が小中学校も多くなっているように思います。子どもたちの情緒不安が増えてきているのか、それは何が影響しているのかと思いました。

(高橋教育長) 10月・11月はいじめの事案が毎年多いです。相手が嫌な気持ちになるということ指導すると納得して反省する事案ばかりで重大事態にはなっていません。その都度きちんと指導していきたいと思っています。情緒不安の子どもは確かに多いです。これについては指導しにくいのが現状です。そのために学習支援員を配置していますが、1名の学習支援員では対応しきれない学級もあり職員全員での対応もしています。

(鎌谷委員) 進路に悩んだり成績不振であったり、特に中学3年生の時期に多いのでしょうか。

(高橋教育長) 中学3年生になると、希望の高校に行きたい、頑張って何点取りたいという目標がしっかりしてくるので逆に落ち着いてきますが、小学校の低学年に情

緒不安定が多いように思います。福崎西中学校の場合、今年の3年生は報告したように注意が必要な状況です。

(西村委員) 報告を聞くとシンプルな話で、いくつかの案件の中の子どもたちは「人と人との接点」の中で単純に好きか嫌いかという理由がはっきりしていると思います。進路や家庭事情など様々ですが、ここ数年で、子どもがなかなか指導を聞かないことが続いているので、更に配慮した指導をしなければならず、先生方の負担になっていると思います。例えば小学1年生の「指導を聞かない」というのはやはり今までの家庭の中で保護者からどのように育てられたかという部分が大きいのではないかと思います。それはもしかしたらこの福崎町だけでなく、全国的な傾向があるのかもしれませんが。親の世代が代替わりするなかで、子どもたちに与える影響も違い、そこに関連があるのではないのでしょうか。先生方から意見が出るということは課題の一つであり、これからの教育方針の中でそこをポイントとした施策を計画的に講じなければならない可能性もある気がします。1年生であれば上級生になり教育を重ねて指導を受けることで学んで落ち着いてくることもあると思いますが、それとは違う要因もあるのではと個人的に感じました。

また、新1年生の5名の外国籍の児童の受け入れ体制は準備できているのでしょうか。

(高橋教育長) 今年度もまだ終わっておらず、これから準備していくところです。学校では2月頃になってから受け入れ体制など考えていかないと考えています。

(西村委員) いくら翻訳機があったとしても、なかなか毎日の生活は厳しいです。

(鎌谷委員) 何を話しているか分からない中で授業の1時間を過ごすのは、本人も指導側も苦痛ですね。

(吉高学校教育課長) 日本語指導員として日本語だけでなく日本の生活様式なども指導する人の配置や、県の子ども多文化共生サポーター事業による人員も配置しています。現在、モンゴル語など色々な言語の人に支援していただいています。

(西村委員) おそらくこの流れは続くと思います。

技能実習生という形で来られた外国の方が3年が終了したら特定技能に移行し5年延長、場合によっては結婚され日本に永住されるという話をよく聞きます。その子どもが地域の学校に通うことは当然あるので、一時的な増加ではなく継続的に増えていくでしょう。

(吉高学校教育課長) 外国籍の子どもは一昨年ぐらいから一気に増え、それはほぼ福崎小学校でしたが、今は田原小学校や福崎東中学校などにもおられます。色々な国の方がおられ、手探りで進めているような状況です。

(西村委員) これも無視できない案件になってきていますね。

(高橋教育長) 外国籍の子どもは今20名近くいますが、その子たちがいじめられるということではなく仲良くしているので、その点は喜んでます。また、西村委員が言われた、「指導に従わない理由が好きか嫌いか」というのは、同感します。好きか嫌いかでいじめたり、指導を受け付けなかったりします。対策や対応が必要だと改めて強く感じています。

(2) 協議事項

1) 桑谷祐頭委員の任期満了に伴う退任により、西村照明委員を教育長職務代理者に指名することを協議し、賛同を得ました。

2) 社会教育施設の料金改定の考え方について

資料に基づき、維持修繕の財源確保のための社会教育施設の料金改定を検討するため、現在の料金の徴収状況について説明し、料金改定や徴収の考え方について協議し

ました。

①「町内外で料金を差をつけるべき」

ア) エルデホールのイベント入場料について

現在は事業内容を勘案して入場料を決定し料金を徴収し、「友の会」と一般では料金の差を設けていますが、町内外では差を設けていません。直近の自主事業では町外の方の参加の方が多くありました。使用料は近隣と比較して特段に安くはないため改定は考えていません。

入場料に差を設けた場合、チケット購入時の住所確認の手間が増えることや、近隣市町では差を設けていないので他地域の状況を勘案すること、町民はチケットを一般よりも早く購入できるなど優先的な施策が必要という意見が出ました。また、町内外の別なく料金のベースアップが良いのではないかという意見が出ました。

イ) 青少年野外活動センターの使用料について

青少年の健全育成や住民研修等の場とする設置の目的から、施設の使用料は低額に設定されていますが、今年度設置した山小屋の空調設備の使用料は利用者が負担する必要があると考えています。令和6年度の利用者数の延べ5,746人のうち、町内が1,809人、町外が3,937人という状況です。

使用料を184円値上げすれば人件費を賄える試算で、現在の使用料も安すぎるため料金のベースアップが必要ではないかという意見が出ました。近隣の類似施設では町内外で使用料に差を設けているところが約半数あり、その基準を明確にした上で料金の再設定も考えられるという意見が出ました。

エルデホールと野外活動センターで同じような線引きが必要であり、料金は町内外では差を付けず全体的な値上げを行うことで対応するという考え方で、料金について検討していきます。

②料金を徴収すべきか

ア) 歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館、三木家住宅

柳田國男・松岡家記念館は財団法人から町に移管された際、条例に観覧料の規定を設けていますが、「当分の間観覧料は無料にする」としています。料金を徴収すると入館者は減少すると予想されますが、入館者数が半分になったとしても収入があるとも考えられます。「神崎郡歴史民俗資料館」はあくまで文化資料を収集保存し整理、公開することを目的としているので、現状通り入館料を徴収しないと考えています。三木家住宅は指定管理により主屋以外の部分は宿泊施設として料金を徴収していますが、教育委員会が管理している部分は条例に入館料徴収の規定はありません。現在、結婚式の会場や成人式の着物の撮影のため主屋を利用したいという希望があるので、営利目的の場合は施設使用料金を徴収できないかという考えもあります。

柳田國男・松岡家記念館では、料金を徴収し入館者数が減少することで館の設置目的から外れてしまう懸念があるので無料でいいのではないかという意見がありました。町外の利用者が多いことや目的を持って来館される方は金額にかかわらず入館されるので、入館料を徴収することにも抵抗はないとの意見が出ました。入館料を徴収するためには、それに見合った展示が必要となるが、今回寄託いただいた映丘先生の本画が切り札になると意見が出ました。入館料を支払って展示を観覧する以外に柳田國男・松岡家の業績を町内の方へ伝える方法を模索する必要があるのではないかと、との意見が出ました。

神崎郡歴史民俗資料館も、企画展示等を行い維持管理費用が当然かかるので入館

料を徴収すべきという意見が出ました。神崎郡の資料を主に収集・展示しており、神崎郡内の利用が多いと考えられるので、無料で良いのではないかとの意見が出ました。

三木家住宅は、林田三木家住宅では入館料を徴収されています。他の近隣施設を調査し今後検討を進めるとの意見が出ました。

(3) 確認・報告事項

田原小学校の臨時講師が退職するため、その後は「補完教員」で対応しています。

(4) その他

特に報告はありませんでした。

(5) 主な12月の予定

12月の主な予定について、資料に基づき報告しました。

次回の教育委員会は、12月25日（木）午前9時30分から開催します。

(高橋教育長) 11月26日に開催された行政改革懇話会に西村委員に代表で出席いただきました。以前この会議でも協議した「放課後等デイサービスの利用者負担の助成事業」の見直しについてご報告をお願いします。

(西村委員) 福祉課の削減する項目に上げておられる放課後等デイサービス事業の廃止について、教育委員会での議論の内容と教育の観点から再検討の依頼をしました。町長からは、「まだ協議中で具体的にどういう方向性になるかは決まっていないので、各議員や教育委員会から報告を受けている内容を加味した上で前向きに検討します」というお言葉をいただきました。できる限り廃止ではなく継続、もしくは、経費を削減しなければならないのであれば利用料の全額負担を半額負担などで経費削減を実現し、対象の子どもたちに対してこの政策が継続できるような前向きな検討をお願いします。今の段階ではまだ検討中ということでした。

4、報告事項

〈学校教育課〉

(1) 入札結果について

資料に基づき報告しました。福崎西中学校防球ネット増設工事は、グラウンドの南側にある既設の高さ6Mの防球ネットに加えて、高さ10M、延長68.7Mの防球ネットを増設するものです。指名競争入札を行い、(株)アスノが税込み落札金額7,730,800円で落札しました。施工期日は、令和8年3月30日です。

公立学校GIGAスクール1人1台端末更新賃貸借は、令和2年12月に導入した1人1台端末について、使用開始から5年が経過し、バッテリーの劣化や部品の故障等が著しいため、兵庫県の共同調達業務により、1,650台の端末をリース契約で導入するものです。指名競争入札を行い、東京センチュリー(株)が5年間(60か月)で税込み落札金額33,105,600円で落札しました。リース期間は令和8年1月1日から令和12年12月31日までです。

(2) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。進捗率は11月14日現在です。

中学校体育館空調設備設置工事実施設計業務委託は、両校の設置箇所等を図面化し、実施設計業務を進めており、進捗率は50%です。先ほど入札結果で報告した、福崎西中学校防球ネット増設工事の進捗率は5%です。

(3) その他

資料に基づき報告しました。

〈社会教育課〉

(1) 二十歳のつどいについて

資料に基づき報告しました。令和8年1月12日(月)「成人の日」に実施します。企画運営の内容は、福崎西、福崎東両中学校からご紹介いただいた10名で組織する実行委員会で検討いただいています。式典は、エルデホールのメインホールを会場に実施し、来賓もコロナ前と同様の案内を予定しています。マスク着用は個人の判断での対応を考えております。

(2) 人権・青少年健全育成フェスティバルについて

資料に基づき報告しました。12月6日(土)にエルデホールのメインホールで開催します。小・中学生の主張、体験発表を行った後、ゴスペル歌手の市岡裕子さんによる「人生あきらめたらあかん～足りないものに不平不満を言わず、あるものに感謝～」の講演を予定しています。また、12月4日からの人権週間に合わせた人権尊重を周知する取り組みとして、ロビーにおいて小・中学生の人権ポスターや人権標語、人権意識高揚活動の記録を展示します。

(3) 柳田國男ふるさと賞について

資料に基づき報告しました。今年度は、各学校で選ばれた小学校低・中学年の部8点、高学年の部24点、中学校の部20点の計52点の応募がありました。審査の結果、各部門で最優秀作品の「ふるさと賞」と奨励賞2点を決定しました。作品は、「福崎町子どもふるさと展」に展示し、11月1日(土)から11月24日(月・休)まで柳田國男・松岡家記念館、11月29日(土)から12月21日(日)まで図書館で展示します。

(4) ウィンタースクールについて

資料に基づき報告しました。学校の支援活動の一つとして、中学3年生を対象に高校受験・検対策として取り組んでいるウィンタースクールは、11月1日から3月7日までの土曜日に計画しています。西中は文化センターで6回、東中はサルビア会館で6回、両校合同での補習を5回行い、それぞれ11回受講できます。学習指導員として、地域の方々や神戸医療未来大学の学生にお願いしています。

(5) 入札結果について

資料に基づき報告しました。福崎町第1グラウンド夜間照明設備改修工事は、11月25日に一般競争入札を行い、銭屋電機(株)が税込み落札金額64,790,000円で落札しました。工期は令和8年3月27日までを予定しています。

(6) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。進捗率は11月14日現在です。

エルデホール非常用電源設備設置工事は、非常用電源設備を格納する小屋の建築確認申請書類の作成等、工事着手に向けた準備を進めています。進捗率は15%です。

(7) その他

資料に基づき報告しました。

第2次福崎町男女共同参画基本計画策定支援業務は、5月29日に入札、6月3日に

契約を締結して業務を進めていましたが、10月21日に受託者の（株）地域社会研究所の担当者から倒産の連絡が入り、10月24日に代表より説明を受け倒産が事実であることを確認しました。進捗状況は、アンケート調査を実施、集計結果の報告を受けた段階で、業務としては初期の段階であるため、（株）地域社会研究所との契約を解除し、再度入札を実施して受託者を決定、業務の完成を目指します。

5、閉会

以 上

署名委員 西 村 照 明

署名委員 鎌 谷 正 子